

## 運転外来用ドライビングシミュレータ体験のご案内

本学術集会では、眼科医療機関の運転外来で運転評価に使用されているドライビングシミュレータの運転を体験いただけます。

シミュレータでは約5分間の直線コースを走行し、赤信号や一時停止、左右からの飛び出しなど、視野障害に関連して事故が起こりやすい状況が複数設定されています。これにより、視野障害を有する患者さんの運転リスクを評価します。また、シミュレータに搭載された視線計測機能により運転中の視線の動きを記録して、残存視野を有効に活用するための視線移動に関する指導・助言を眼科医・視能訓練士が行っています。

本体験では、この視線計測機能を利用して、視野障害(上方/下方視野障害、求心性視野狭窄、同名半盲)がある状態での運転を疑似体験していただけます。視野障害が運転に与える影響を実感し、安全運転指導の理解を深めていただければ幸いです。展示会場でみなさまをお待ちしております。

併せて、運転外来開設についての相談も承っております。運転外来開設に関心がある先生方も、ぜひ体験コーナーに足をお運びください。

◆ 場 所:東京慈恵会医科大学講堂 展示会場(7F 実習室)

◆ 開催時間(予定)

5月16日(土) 11:00~19:00(予約枠は16:45まで 以降は先着順にてご案内)

5月17日(日) 9:00~15:00(最終予約時間14:45)

<注意>

体験には事前予約が必要です。予約方法は学術集会 HP をご覧ください。

1人15分ずつの予約枠になっており、各時間帯先着順にて締切となります。

体験コーナーは一般社団法人 Vision & Mobility が運営します。

予約に際してご入力いただいた情報は一般社団法人 Vision & Mobility が管理し、本体験展示に関してのみ使用します。

ドライビングシミュレータ体験コーナーに関するお問い合わせ先



一般社団法人

VISION &  
MOBILITY

一般社団法人 Vision & Mobility

<https://vision-and-mobility.or.jp>



昨年のドライビングシミュレータ体験の様子